



連合駿台会報

No.352 令和3年1月20日発行
発行・編集 連合駿台会

発行人 広報委員長・齋藤柳光
編集人 事務局・矢嶋まゆ子
〒101-0052 千代田区神田小川町三十二
明治大学「紫紺館」内
電話 (〇三) 三二九六―四七四七
印刷 有限会社 美創

創立一四〇周年を共に祝いましょう!!

謹賀新年

連合駿台会
会長 田村 駿



会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と健やかな新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

今年の年明けは、昨年からの新型コロナウイルス・パンデミックの脅威が収まる気配もなく、これまでにない複雑な心境で年始をお迎えのことと存じます。また、昨年はそのような不自由な環境の中、総会、忘年例会などに大勢ご参加いただき、心よりお礼申し上げます。

今年、連合駿台会は、前身の茗水クラブ創立から六十八年目、そして二〇〇二（平成十四）年に明友クラブと統合してちょうど二十年の節目を迎えます。そして、明治大学は一月十七日に創立一四〇周年を迎え、十一月一

日には記念式典を行います。私も実行委員を仰せつかっており、改めて母校史を顧みました。そこで大変心強く実感したことがあります。難局を乗り越える「復興魂」の存在です。一九二三（大正十二）年の関東大震災では、焼失したキャンパスを大学教職員と学生たちが率先垂範して後かたづけを、体育会、サークル、そして全国の校友が直ちに救済募金に奔走したそうです。また、一九四五（昭和二十）年の終戦直後も、九月十七日に速やかに始業式をして、大学と勤労動員から戻った学生も加わり、鵜澤総明総長のもとオール明治で立ち上ったと記されております。そこには「前へ」とする誇らしい伝統があふれています。

いずれも経験したことのない大事、だからこそ、今、この時に頼もしく誇らしく思えます。それだけに一四〇周年を祝しながらも、この一年は、私たちが受け継いでいるこの「復興魂」を忘れずに、ポストコロナを見据え、連合駿台会のメンバーとして母校にどう貢献していくかを共に考えたいと思います。

私は、昨年から山口政廣前会長の後を引き継いで評議員会の議長を務めさせていただいております。今回は改選期に当たりましたが、評議員八十八名の半数である校友四十四名のうち、八割に近い三十五名が連合駿台会のメンバーです。それだけ、自分自身はもちろん、会の注目度、責務、期待感は計り知れないものがあり、身の引き締まる思いがしております。

大学の授業は、当面は対面三割、オンラインが中心のようです。各キャンパスで一日も早く学生たちの明るい笑顔を見たいものです。また、今年はオリンピック・パラリンピックの年です。成功を祈ると共に明大関連連選手の活躍を期待し応援したいと思えます。そして、コロナ終息を願ひ、健康第一で、創立一四〇周年を皆さんと共に大いに祝いましょう!!

最後になりましたが、会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とします。



創立一四〇周年の年頭にあたり

二〇二一年、創立一四〇周年の年頭にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。連合駿台会の皆様方には、平素より本学発展のために多大なるご理解とご支援を賜り、学校法人を代表し厚く御礼を申し上げます。

さて、二〇二〇年を学校法人経営の視点で振り返りますと、四月の新理事会発足時より、新型コロナウイルス感染症拡大への対応に最優先で取り組んでまいりました。そうしたコロナ禍における新理事会の役割は、第一に学生と教職員の皆さんの健康と安全を守ることにあり、そして大学業務の継続性を守ることにありました。早速、緊急事態本部を立ち上げ、教養と一体となって経済困窮学生を対象とした緊急学生支援金一人一〇万円の給付を行うとともに、春学期に印刷通信環境支援として一人一万円、秋学期にオンライン授業支援として一人四万円の給付を行い、総額として約二億円の措置を実施しました。

さらに、教養からの提案により、今後も発生するであろう災害やウイルスで学生の修学機会が奪われることのないよう、他大学に先駆けて「学生・教育活動緊急支援資金」を新設しました。このファンドには法人として五億円供出しましたが、校友会からの二億円、そして連合父母会からの五千万円も含め、一月末日現在で三億八六〇〇万円もの寄付が寄

せられています。また、昨年末の例会でも申し上げますように、初めて募金する卒業生の割合も、これまで約二割であったところ、今回は五割近くに達し、卒業生から「母校で学ぶ後輩学生達を支えたい」との機運が高まっていることを強く実感しております。私共もこのファンドへの資金供出を続け、今理事会の任期中に一〇億円を超えるファンドに育て、将来に向けて経済困窮学生を支えてまいります。

ところで本年はいよいよ創立一四〇周年を迎えます。コロナ対応による支出増加を踏まえ、周年事業を費用面ではコンパクトに、内容的にはインパクトのあるものにすることで準備を進めております。本年十一月一日の本学創立記念日に記念式典と祝賀会を開催いたしますが、ちょうど一四〇年目となる一月十七日の創立記念日に主要な全国紙に広告掲載することも企画しています。さらに昨年三月着工の和泉キャンパス新教育棟については、コロナ禍においても二〇二二年三月の竣工に向けて順調に工事が進んでおります。また、一月十五日には臨床心理士や公認心理師を目指す本学学生への実習機能を併せ持つ「明治大学子どものこころクリニック」を駿河台キャンパスに開設します。三歳から十五歳までの子供を対象とした児童思春期の精神科クリニックとして、新たな分野での社会貢献も果たしていきます。

こうした取り組みが進められますのも、二〇一九年度決算で、企業の純利益に相当する基本金組入前当年度収支差額が、九年ぶりに三〇億円を超える黒字になったことが大きな支えとなっています。本年はコロナ対応で厳しい決算となるのが予想されますが、引き続き教育研究環境の充実を目指してまいります。

また、本年は「学校法人明治大学」が誕生してちょうど七〇年目の年でもあります。一九五一年の戦後の私立学校法の制定に伴い、各大学の公共性と自主性を一段と高めるために財団法人から学校法人へと組織変更したことは、現在の明治大学へと繋がる重要な転換点でありました。また昨年の私立学校法改正を機に、今理事会では法人としての一層のガバナンス強化と多様性の確保という観点から、本学初となる常勤監事と女性の理事・監事を選任しました。多様な視点とエビデンスに基づく意見交換を通じて、法人としての経営の健全性を高めて、世界各国の大学と教育・研究レベルで本格的に競い合う時代を前に、本学のプレゼンスをグローバルベースでも高めてまいります。

結びになりますが、本年も引き続きのご支援とご指導を賜りますようお願いを申し上げますとともに、連合駿台会の皆様方のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

学校法人明治大学
理事長
柳谷 孝



刻苦研鑽 他念なく「前へ！」

二〇二一年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。一昨年末から世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症は、経済活動をはじめとしたあらゆる局面において甚大な影響を与え、我々の社会・生活を一変させました。大学においてもそれは例外とならず、感染症の拡大は、授業のオンライン化、正課・正課外活動の制限等、従前の教育活動・方法からの転換を強いるものとなり、大学の在り方自体が問われる事態となっています。

このような状況の中、昨年四月の学長就任以降の主たる任務は、コロナ禍にあつてどのような質の高い教育と研究を維持するかということでした。教職員の皆さんの「何とかして学生の教育・研究活動を維持したい」という強い思い、教学の様々な要望に迅速にお応えくださった理事會、そして後輩学生のため早々にご寄付をお寄せくださった校友の皆さまやステークホルダーの皆さまの温かいご支援があったからこそと感謝の念に堪えません。このわずか数か月間で、学生も教職員もオンライン授業を利活用できる環境を構築したわけですが、次に考えるべきことは「対面か、オンラインか」という二元

論的な議論ではなく、学生たちに提供する教育の効果を最大限に発揮するにはどのような手法で実行していくかということです。このことについては、学長プロジェクトとして、従来の対面授業をそのままオンラインに置き換えるというのではなく、効果的なメディア授業の在り方について既に検討を進めています。十年後、二十年後を見据え、「明治大学のあるべき姿」について、本学に関係する皆さまの合意を形成することが、教学の長としての大きな責任と考えています。

さて、本学は今年創立一四〇周年を迎えます。このような節目の年にあたり、我々は今一度創立者の想いに立ち返る時機にあると思料するところです。創立者の一人である矢代操は、福井県の鯖江から十二日間かけて徒歩で上京したと言われております。記録はありませんが、岸本辰雄・宮城浩蔵もまた同様であったことでしょう。それぞれが旅路の中で膨らませた想いや志は、一八八一年に明治法律学校の設立という形で具現化されました。三人の想いと熱意が込められた建学の精神は、現代社会においても色褪せることのない理念であります。一四〇年の時

を経て、本学にとって揺るぎない根幹であるのです。

今こそ創立者の想いを胸に、我々は持続的発展を遂げなければなりません。そのためにも、近年の本学の社会的評価に安閑とすることなく、厳しい競争環境に置かれていることを再認識し、これまでに果たしてきた地道な努力の積み重ねを粘り強く継続していかなければなりません。この注力があればこそ、本学の際立った特徴と未来への飛躍につながり、日本のみならず、世界各国から高き志を持った者が集う大学であり続けることができるのです。持続的成果は天の恵みや偶然の所産からは生み出されません。急速に展開している今のグローバル化社会で生み出される様々な可能性と歪みに常に対応し、人間が人間として生きるに値する社会の実現に寄与する大学として、皆さまの変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、連合駿台会のみまますのご発展と会員各位のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

明治大学
学長
大六野 耕作





謹賀 新年

株式会社新都心エージェンシー

代表取締役

安達 明正

〒160-0023 新宿区西新宿六―六―三
新宿国際ビルディング新館八F
TEL 三三四五―七六八二
FAX 五三三三―七七六五

足立会計事務所所長
株式会社足立経営サポート取締役会長

足立 吉松

〒410-0832 静岡県沼津市御幸町二四―三〇
TEL 〇五五―九三二―六三九一
FAX 〇五五―九三二―〇一二五
明治大学校友会静岡県支部顧問

株式会社エービーコーポレーション

代表取締役
社長 阿部 倫明

〒980-0004 仙台市青葉区宮町三―八―三三
TEL 〇二二―二二五―〇八一
FAX 〇二二―三三九―八二七

株式会社山口フィナンシャルグループ

専務執行役員
市場事業本部長 荒木 吉哉

〒103-0021 中央区日本橋本石町三―三―五
TEL 三三三三―六六〇八
FAX 三三三三―六六〇八

明治大学評議員
連合駿台会顧問

有賀 隆治

〒105-0001 港区虎ノ門一―二―一〇―六〇一
TEL & FAX 三五八一―七七八〇

株式会社埼玉りそな銀行

取締役会長

池田 一義

〒330-9088 さいたま市浦和区常盤七―四―一
TEL 〇四八―八二四―二四一

株式会社ニチレイフーズ

取締役会長

池田 泰弘

〒104-8402 中央区築地六―一九―二〇
ニチレイ東銀座ビル
TEL 三三四八―二二九六
FAX 三三四八―二二四〇

SMB C日興証券株式会社

副社長
執行役員 石井 仁

〒100-6524 千代田区丸の内一―五―一
新丸の内ビルディング
TEL 三三三八―六七七七
FAX 三三二二―五二六九

税理士法人あい&ゆう税務会計事務所

代表社員
税理士 石橋 良一

〒142-0022 品川区二葉二―二四―九一―〇一
TEL 三七八三―一一七一
FAX 三七八三―一一七五

三八五流通株式会社

専務取締役
泉山 和久

〒039-1189 青森県八戸市長苗代上中坪三五―一
TEL 〇一七八―二七一―四一四一
FAX 〇一七八―二七一―一五〇九

株式会社CPO設計

代表取締役
社長 伊東 正博

〒163-0444 新宿区西新宿二―一―一
新宿三井ビル四四F
TEL 五三二五―九六一一
FAX 五三二五―九六二二

連合駿台会

大学支援
委員長 伊原 敏雄

〒173-0025 練馬区熊野町一―二―一六
TEL & FAX 六七八九―七七三三

学校法人明治大学理事
明治大学校友会相談役

岩田 守弘

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘一―一四―六
TEL & FAX 〇七七―五二六―〇八〇二

株式会社りそな銀行

代表取締役
社長 岩永 省一

〒135-8581 江東区木場一―五―一六五
深川ギャザリアWII棟
TEL 六七〇四―二二一一
FAX 五六三二―五五四九

株式会社チュチュアンナ

代表取締役
会長 上田 利昭

〒536-0015 大阪市城東区新喜多一―二―一七
TEL & FAX 〇六―六九三六―一三七二
三六〇五

学校法人明治大学

 経営企画担当
常勤理事

大原 幸男

 〒101-8301 千代田区神田駿河台一―
TEL 三二九六―四〇〇〇
FAX 三二九六―四三三八

ペップ・メイツ株式会社

 代表取締役
大前 実之

 〒103-0011 中央区日本橋大伝馬町一四―一〇―四F
TEL 三六六三―八八二七
FAX 三六六三―八八二八

 安全と信頼の警備
タイヨー株式会社

 最高顧問
大村 託現

 〒124-0023 葛飾区東新小岩五―八―一二
TEL 五八七五―七三三〇
FAX 五八七五―七三六〇
タクミビルニF
E-mail:webmaster@okinoshita-circus.co.jp

株式会社アマダ

 相談取締役
岡本 満夫

 〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田二〇〇
TEL 〇四六三―九六―一一一
FAX 〇四六三―九六―一一一

富士建物管理株式会社

 代表取締役
社長
長田 宇功

 〒190-0021 東京都立川市羽衣町三―八―一一
TEL 〇四二一―五二四―六五一
FAX 〇四二一―五二四―六五一

株式会社カナエ

 代表取締役
社長
金子 圭太

 〒105-0013 港区浜松町二―一―〇―一二
TEL 三三三二―五四一〇
FAX 三三三二―五四一〇
カナエ本社ビル
三三三七―六六六八

株式会社ホテルグランドパレス

 代表取締役
社長
河村 博

 〒102-0072 千代田区飯田橋一―一―一一
TEL 三二六四―一一一一
FAX 三二六四―五四九六

木下サーカス株式会社

 代表取締役
社長
木下 唯志

 〒700-0822 岡山市北区表町三―二―一二
TEL 〇八六一―三一一〇四
FAX 〇八六一―三一一〇四
E-mail:webmaster@kinoshita-circus.co.jp

アサガミ株式会社

 代表取締役
社長
木村 健一

 〒100-0005 千代田区丸の内三―一―一一
TEL 六八八〇―二二三九
FAX 六八八〇―二二三九

株式会社大和総研ホールディングス

 顧問
草木 頼幸

 〒135-8640 江東区冬木一―五―一六
TEL 五六二〇―五一〇一
FAX 五六二〇―五一〇一

有限会社かいたく

 代表取締役
草間 謙一郎

 〒399-8211 長野県安曇野市堀金鳥川三六八二番地
TEL 〇二六三―七一一―三四三五
FAX 〇二六三―七一一―三四三六

有限責任監査法人トーマツ

 包括代表
國井 泰成

 〒100-0005 千代田区丸の内三―二―二三
TEL 六二二三―一〇一〇
FAX 六二二三―一〇一九

野村不動産ホールディングス株式会社

 代表取締役社長
グループCEO
沓掛 英二

 〒163-0566 新宿区西新宿一―二六―一二
TEL 三三四八―七八〇五
FAX 三三四三―〇四四五
新宿野村ビル

北野建設株式会社

 執行役員
久保 聡

 〒104-8116 中央区銀座一―九―一二
TEL 三五六二―二三三一
FAX 三五六二―七三八五

日本電子株式会社

 CEO 兼
栗原 権右衛門

 〒196-8558 東京都昭島市武蔵野三―一―一二
TEL 〇四二一―五四三―一一一
FAX 〇四二一―五四三―一一一
<http://www.jeol.co.jp>

総合物流をはじめとする多彩なサービスを
 “お客様のご満足”と“安全”をモットーに
 提供し続ける会社、それがアサガミです

アサガミ株式会社
ASAGAMI

 本社：東京都千代田区丸の内3-1-1
TEL (03) 6880-2200 FAX (03) 6880-2230
<http://www.asagami.co.jp/>

日生流通運輸倉庫株式会社

取締役会長
黒崎 昭男

〒362-8570 埼玉県上尾市大字平塚二一六五
TEL 〇四八七七七七六四八
FAX 〇四八七七七七六四九

ユニテッドプレジジョンテクノロジーズ株式会社
株式会社協成

代表取締役
社長 古賀 慎一郎

〒162-0843 新宿区市谷田町二一三七
TEL 三三六〇一五三三六
FAX 五二六一七〇八五

日本共同株式会社グループ
城南不動産販売株式会社

代表取締役
社長 小島 清治

〒141-0022 品川区東五反田二一〇一四
TEL 三三四四一三三
FAX 三三四四一三三
(携帯) 〇九〇一三三七四三三

株式会社スウェンソンホールディングス

代表取締役
社長 兒玉 圭司

〒107-0052 港区赤坂一〇九一三
TEL 三五八六〇〇一
FAX 三五〇五五七九七

小山税理士法人

会 長 小山 修

〒342-0056 埼玉県吉川市大字平沼二六三番地
TEL 〇四八一九八二一〇三六〇
FAX 〇四八一九八二一〇三三九

東神興業株式会社

社 主 根田 哲雄

代表取締役
根田 吉雄

〒167-0043 杉並区上荻一〇二三一
TEL 五三三五一六八六
FAX 五三三五一六八六

一般社団法人健康ニッポン

会 長 齊藤 柳光

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町九四五
TEL 〇四八六四四一〇〇八五
FAX 〇四八六四四一〇三〇六

株式会社HEXEL Works (ヘセルワークス)

取締役兼
執行役専務 坂本 孝行

〒105-0012 港区芝大門一〇一三
TEL 五五〇四一六七六
FAX 五五〇四一六七一五

株式会社アーバンコンサルタンツ

代表取締役
坂本 道昭

〒101-0021 千代田区外神田二一三
TEL 三三二二二七五〇
FAX 三三二二二七六〇

学校法人明治大学常勤監事
中小企業診断士

佐藤 健

オリックス株式会社元専務執行役

株式会社シテイハウジング

代表取締役
社長 佐藤 仁

〒144-0034 大田区西糞谷四一八
TEL 三七四二七六〇七
FAX 五七〇五一八〇九七

片倉工業株式会社

取締役会長
佐野 公哉

〒104-8312 中央区明石町六一四
TEL 六八三一八七三

株式会社廣澤精機製作所

代表取締役
社長 柴田 清之

〒300-4297 茨城県つくば市寺具一三三
TEL 〇二九一八六九一
FAX 〇二九一八六九一

創業昭和五十六年

東都ゴルフ株式会社東都ジャパン

代表取締役
杉浦 伸二

隼あすか法律事務所

弁護士 鈴木 銀治郎

〒100-6004 千代田区霞が関三一五
TEL 三五九五一七〇七一
FAX 三五九五一七二〇六



大学と校友の皆様のかけ橋となります。
本年もよろしくお願いいたします。

(株)明大サポート (明治大学外郭事業会社)

設 立 1996年1月22日

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-3-1

明治大学大学会館地下1階

Tel: 03-5280-1500 Fax: 03-5280-1505

ホームページ <http://www.meidai-support.com>



明サポ情報満載

明大サポート公式アプリ



株式会社日本カーゴエクスプレス

代表取締役 鈴木 隆志

〒105-0003 港区西新橋一丁目二〇一九
TEL 五二五一・一一〇二
FAX 五二五一・一一〇一
http://www.jecexp.co.jp

北斗産業株式会社

代表取締役 園田 英次

〒520-3252 滋賀県湖南市岩根六七八一五五九
TEL 〇七四八・七五八四一
FAX 〇七四八・七五八四一四

林・園部法律事務所

代表弁護士 園部 洋士

〒101-0041 千代田区須田町一丁目四一八
NCO神田須田町三F
TEL 五二〇九・三三八〇一
FAX 五二〇九・三三八〇四

合同会社高澤ヒスアソシエイツ

代表 高澤 徹

〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川二丁目一六・一三三
TEL & FAX 〇四五一・三三六四九七〇
(携帯) 〇九〇一・二七五七一六〇
E-mail: itakazawa@illy.ocn.ne.jp

ダイアナ株式会社

代表取締役社長 高橋 郁夫

〒150-0001 渋谷区神宮前一丁目八一六
TEL 三四〇五・四四〇〇一
FAX 三四七九・八〇〇一四
学校法人明治大学評議員

学校法人新潟大原学園

校長 高橋 淑浩

〒950-0086 新潟市中央区花園一丁目三三三
TEL 〇二五二・四六八八八
FAX 〇二五二・四六八八八

新日本建設株式会社

代表取締役社長 高見 克司

〒261-0021 千葉市美浜区ひび野一丁目四一三
TEL 〇四三二・二二二一
FAX 〇四三二・二二二一〇七六四

ユニバーサル企業株式会社

代表取締役 田代 恭一

〒104-0045 中央区築地五丁目三三三
TEL 六二六四・七一七〇
FAX 五五五〇・一三七七

連合駁台会

会長 田村 駿

〒154-0012 世田谷区駒沢二丁目四三三
TEL 〇九〇一・四三七〇一五三三
北野建設株式会社顧問
(明治大学評議員会議長)

株式会社日立ハイテクソリューションズ

監査役 樽見 俊之

〒105-6412 港区虎ノ門一丁目七七一
虎ノ門ビルズビジネスタワー
TEL 〇八〇一・二九二一八〇六五
FAX 三五〇四・一五五九六
明治大学体育会拳法部OB会幹事

連合駁台会

専務理事 当山 明彦

〒101-8301 千代田区神田駿河台一丁目三一
株式会社明大サポート社長
TEL 五二八〇・一五〇〇
FAX 五二八〇・一五〇五

徳丸織物株式会社

代表取締役 徳丸 平太郎

〒335-0001 埼玉県蔵市北町三一五一四
TEL & FAX 〇四八四・四三二二〇五〇

明治大学金融紫紺会副会長
日本証券業協会金融証券インストラクター

富水 流孝二

〒170-013 豊島区東池袋四一五一一
エアライズタワー八一六
TEL & FAX 〇五〇一・五五三一三七四五

株式会社太昌園

代表取締役 長岡 信裕

〒110-0005 台東区上野二丁目八一〇
TEL 三三八三・四一六五四一
FAX 三三八三・四一四五〇

株式会社ナガセインテグレーション

代表取締役社長 長瀬 幸泰

〒501-2697 岐阜県関市武芸川町跡部二二三三三
TEL 〇五七五・一四六一三三三三
FAX 〇五七五・一四六一三三三三

船用照明器具・船用配線器具・船用信号器具・船用配電盤

ヘリコプタ着船援助器具・高耐水性照明器具

ISO 9001:2008認証工場

— 信頼と実績に応え、未来に挑戦する集団 —


大石電機工業株式会社

代表取締役社長 大石 哲也 昭和63年工学部卒業

〒140-0011 東京都品川区東大井2-17-9

TEL 03-3761-2166 (代表)・FAX 03-3761-4851

http://www.ohishi-denki.co.jp

中根税務会計事務所

税所
理 士 長
中 根 武

〒170-0003 豊島区駒込一―一二―一六
レジデンス六義園一F
TEL 三九四五―八五九四
FAX 三九四五―八五四一

セゾン投信株式会社

代表取締役
会長CEO
中 野 晴 啓

〒170-6048 豊島区東池袋三―一―一
サンシャイン60・四八F
TEL 三九八八―八七二〇
FAX 三九八八―八六七三

株式会社ナガホリ

会 長
長 堀 守 弘

〒110-8546 台東区上野一―一五―一三
TEL 三八三六―四七一一
FAX 三八三五―〇八一五

公益財団法人新聞調査会
公益社団法人日本広告審査機構

理 事 長
西 澤 豊

西山商事株式会社

代表取締役
会 長
西 山 武 夫

〒201-0004 狛江市岩戸北四―一九―一二
TEL 三四八〇―一四二〇
FAX 三四八〇―四三六五

株式会社ビッグKテニス

代表取締役
畠 中 君 代

〒177-0054 練馬区立野町三〇―一―〇
TEL 三九二八―一一二二
FAX 三九二八―一一二三
明治大学校友会杉並区地域支部長

ネットトヨタ水戸株式会社

社取
締 役
長
幡 谷 公 朗

〒310-0851 水戸市千波町一九八八
TEL 〇二九―二四―一三二二
FAX 〇二九―二四三―二六四四

岡部株式会社

代表取締役社長
執行役員
廣 渡 眞

〒131-8505 墨 田 区 押 上 二―八―二
TEL 三六二四―五一一一
FAX 三六二一―一六二七

フジ企画株式会社

代表取締役
社 長
藤 代 耕 一

〒221-0021 横浜市神奈川区子安通一―二三―一六
TEL 〇四五―四三三―一〇一〇
FAX 〇四五―四三三―一〇六〇

辨護士

堀 越 孝

特別非営利活動法人さくら
さくら保育園

園 長
松 崎 優 子

〒279-0043 千葉県浦安市富士見四―六―二八
TEL 〇四七―三〇三―三九三七
FAX 〇四七―三〇三―三九四七

株式会社松本商会

代表取締役
社 長
松 本 伸 一 郎

〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬三四六八
TEL 〇四九―二五一―〇六一一
FAX 〇四九―二五一―八八〇〇

高野山真言宗妙智山歓成院名誉住職
宗教法人 大倉山アソカ幼稚園園長

摩 尼 和 夫
(僧名) 之 法

〒222-0037 横浜市港北区大倉山二―八―七
TEL 〇四五―五三二―二〇五四
FAX 〇四五―五三一―四一一四

学校法人松商学園

理 事 長
丸 山 律 夫

〒390-1295 長野県松本市新村二〇九五―一
TEL 〇二六三―四八七―二〇七
FAX 〇二六三―四八七―二九七

エフ株式会社

代表取締役
会 長
宮 下 隆

〒170-0005 豊島区南大塚三―三二―一〇
TEL 五九五〇―一五〇
FAX 五九五〇―一六八〇五



『防水と屋上を総合的にプロデュースする』

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

TEL 03-3882-2424

代表取締役社長 相臺 志浩



ミズ太郎

ダイニチグループ

代表取締役 六井 元一

 〒279-002 千葉県浦安市北栄一―一六―三
 DNプラザビル
 TEL 〇四七―三五四―〇一三
 FAX 〇四七―三五四―〇一九
<http://www.dainichi.co.jp>
株式会社大同
フレンドシップカントリークラブ

代表取締役 村山 友彦

 〒100-0014 千代田区永田町一―一―四
 永田町パレスサイドビル
 TEL 三五八〇―三四四七

学校法人明治大学

理事長 柳谷 孝

 〒101-8301 千代田区神田駿河台一―一―
 TEL 三二九六―四〇〇〇
 FAX 三二九六―四三三八

株式会社やまたけ

代表取締役 山口 大介

 〒123-0841 足立区西新井五―三五―一三
 TEL 三八九九―三七三七
 FAX 三八九九―四六七二
学校法人明治大学顧問
共同印刷株式会社社友

山口 政廣

 〒273-0047 千葉県船橋市藤原七―一―四一―〇四
 TEL & FAX 〇四七―四三八―八六三五
山田サードサービス総合事務所
(登記社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所)

代表取締役 山田 晃久

 〒220-0004 横浜西区北幸一―一―一五
 横浜STビル一八F
 TEL 〇四五―三二五―三九三三
 FAX 〇四五―三二五―三九三四

株式会社不二家

代表取締役 山田 憲典

 〒112-0012 文京区大塚二―一―五―一六
 ニッセイ音羽ビル
 TEL 五九七八―八二二三
 FAX 五九七八―八六三三

株式会社日本金属工芸研究所

取締役会長 山田 朝彦

 〒113-0023 文京区向丘一―一六―一二
 TEL 三八二―七七〇九
 FAX 三八二―〇〇〇三

税理士法人東京シティ税理士事務所

代表税理士 山端 康幸

 〒163-0433 新宿区西新宿二―一―一
 新宿三井ビル三三F
 TEL 三三四四―三三〇一
 FAX 三三四四―九〇五三
E-mail:yamahata@tokyocity.co.jp

株式会社バンダイロジカル

代表取締役 弓野 理恵

 〒124-8585 葛飾区東四つ木四―四二―一五
 TEL 三六九五―五一五一
 FAX 三六九五―五二六〇

カーネリアン税理士法人

代表 吉田 光一郎

 〒103-0026 中央区日本橋兜町一―一―七
 ビーエム兜町ビル五F
 TEL 五六三二―二九一〇
 FAX 五六三二―二九一二

金魚の吉田 株式会社ヨシダ

代表取締役 吉田 信行

 〒124-0023 葛飾区東新小岩五―一四―一七
 TEL 三六九四―三七五一
 FAX 三六九四―三七五三

株式会社東京精密

代表取締役 吉田 均

 〒192-8515 東京都八王子市石川町二九六八―二
 TEL 〇四二―六四二―一七〇一
 FAX 〇四二―六四二―一七九八

桜神宮

宮司 芳村 正徳

 〒154-0014 世田谷区新町三―二二―一三
 TEL 三四二九―〇八六九
 FAX 三四二九―七四五二

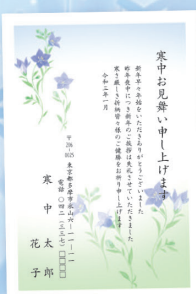
藤浦産業株式会社

代表取締役 渡辺 正三

 〒570-0002 大阪府守口市佐太中町三―二―二八
 TEL 〇六―六九〇―三三三三
 FAX 〇三―六九〇―五二六七

寒中見舞いはがき

印刷承ります



マイプリント株式会社

 〒206-0025 東京都多摩市永山 6-11-11
 TEL 042-337-8111 (代表) FAX 042-337-8121
<http://www.myprint.co.jp>

連合駿台会十一月例会

「いのちの参観日」

シンガーソングライター 玉城ちはる氏

コロナ禍の一年でしたが、今年を締めくくる今年度二回目になる連合駿台会の例会（忘年会会）が、十一月十八日（木）十七時四十分より、「三密」を避けて十分なソーシャルディスタンスを設けた万全の体制のなか、ホテグランドパレス「ダイヤモンドルーム」で開催されました。

当日の様子は以下の通りです。

*



私の本業はシンガーソングライターですが、ご紹介にもあったようにホストマザーの経験を活かし、全国各地の小中学校・高校・大学で講演をさせていただいております。実は私には孫が六人おります（笑）。どういふことかという、二〇〇四年から三十六人の子を迎え入れ、ひとつ屋根の下で共同生活をしてきました。彼（彼女）らは日本人だけでなく中国人や韓国人の子もいて、何らかの家庭の事情によって、養護施設などで育った子どもたち。大学などに進学したいと思っても学費が払えない子、また途中で諦めざるを得ない子たちを招き入れ、十年間過ごしました。

このように日中韓の子どもたちの「ママ」となつて「多文化共生」を続けてまいりましたが、ある時「玉城さんの話される多文化共生とは、国際交流だけではないでしょう。自分とは違う人を排除しないで、また自分とは違う人を受け入れて、どうやってひとつの教室や学校、さらには同じ地域や会社などで共存していくのか……、ということをお話しておられるのだと思います。このことを生徒たちにわかるように話していただけませんか」とのご依頼を、ある小学校の校長先生から受けました。これがきっかけとなり、この「命の参観日」というタイトルで、自分とは違う人を排除しないで、ひとつ屋根の下でどう暮らしてきたかをお話するようになりました。

ご承知のように歴史的背景もあり、日・中・韓三十六人もの子どもたちを抱えていると、日々喧嘩が絶えません。しかし全員お金がないため、誰かを追い出すことはできませんでしたので、同じ屋根の下で共に生きるすべを毎日試行錯誤しながら、寄り添い合つて生活を続けてきました。

ここで、オープニングの楽曲「**ひだまり**」

「異文化理解」「異文化コミュニケーション」という言葉を聞いて、皆さんはまず何を思い浮かべられますか？ 代表的なものとしては言語、歴史や衣食文化、宗教などがあげられます。では同じ言語を話す者同士なら、一〇〇%コミュニケーションは取れるのでしょうか？ そんなことはありません、相手に違和感を感じる人は少なくないでしょう。つまり同じ日本人同士でも、互いの本心を理解するのは思いのほか難しく、この人の考え方は自分とは違うな、と感じることが皆さんの生活の中でも多々あると思います。思い切つてあなたはどう考えですか、と質問して、そういうことなのか……と理解できればいいのですが、なかなか聞けないものですから、勝手な思い込みから喧嘩になってしまうこともしばしばあります。

私にもこんな経験がありました。初めて中国人の男の子を預かった時、私は彼のために

一生懸命に食事を作りました。でも彼はいつも私の作ったものを残すのです。私たち日本人は、作ってくれた人への感謝の気持ちを込めてご飯を残してはいけない、と小さい時から教わってきました。ですから彼が食事を残すのは美味しくないからだと思って、横浜の中華街で食材を買って作ったりもしましたが、それでも残すのです。これが一ヵ月ほど続いた頃、私は悲しくなって、彼が残したものを自分で食べました。そうしたら「ママ、何で僕が残したものを食べるの？ 汚いよ！」と言われ、頭の中で何かがブチ切れて「日本では全部食べないと失礼なの、だから食べているの」と返すと、「ママは間違っている」と言うのです。中国では全部食べ切ってしまうと、あなたのおもてなしはよくないということになるのだそうです。食べ切れないくらい美味しい料理でした、あなたのおもてなしは最高です……、という感謝と敬意を込めて、彼は食事を残していたのだと言います。しかし私は知らなかったから、一人で思い込んで涙を流して、どんどん彼が嫌いになって、ついには怒鳴ってしまったわけです。

この時私は、自分の受けた教育、価値観が絶対に正しいとは限らないということ、自分の考え方とは違う出来事が世の中にはたくさんある、ということを変更して知らされました。世の中にはどちらも悪くないということがた

くさんあります。では何が足りなかったのでしょうか？ それは対話です。誰も他人の気持ちを一〇〇％理解することはできません。ですから尋ねればいい、話せばいいのです。わかり合いたいと願う人はたくさんいるはずですから、対話をするのが大切なのです。わが家でもこれを欠かさないことで、何とか共存して暮らせてこられたのだと思います。自分だけが正しいと思ってしまおうと、生きることで自分が苦しくなる気がします。

二曲目は「ヒトリゴト」

しかし喧嘩が絶えないわが家では、仲直り

の方法として「優しき貯金ゲーム」ということを行ってきました。このゲームをここでもやってみたくので、本日はHさんとSさん、壇上にお願ひできますでしょうか。今はコロナ禍なので禁止ですが、本当は手を繋いで目と目を見て、相手に直して欲しいところ（短所）と相手のいいなと思うところ（長所）を言い合います。そして最後に、ありがとう、ごめんなさい、大好き、と言うのです。

〈Sさん↓Hさん：からかわれるところ、大変まじめで誠実なところ。Hさん↓Sさん：何を考えているかわからないところ、誰に對してもまじめなところ〉。

【講師略歴】

玉城ちはる（たまき・ちはる）

大学進学時に父が自殺で世界し、進学を断念。このことがその後の人生に大きな影響をもたらす。十九歳で上京、音楽や芸能活動を始める。二十四歳の時偶然の出会いから中国人留学生の面倒をみることになる。その後「自身に出来る社会貢献」としてアジア地域の留学生支援活動「ホストマザー」を十年間継続、三十六名の留学生を送り出し、その模様がNTV系「24時間テレビ」やNHKなどで取り上げられる。

二〇一四年一月この十年間の「ホ

ストマザー」の活動が認められ、公益財団法人日本ユースリーダー協会 第五回「若者力大賞」ユースリーダー賞を受賞。

現在、ホストマザーの経験を生かし全国の小中学校・高校・大学にて「命の参観日」という講演を多数行っている。また、広島出身という事もあり平和活動への意識が高く、二〇〇九年「一般社団法人EACH」を設立、理事を務める。広島・長崎を中心に平和イベントやボランティア活動を行っている。

さらに「自殺防止」「異文化コミュニケーション」「世界平和」をテーマ

に人権講演も行う。広島安田女子大学にて非常勤講師（二〇一一年から異文化コミュニケーション論、二〇一九年から人間論）を担当している。

二〇一二年には自身初となる『エッセー集「風になれよ」』（本分社刊）を発売。

二〇一五年女性目線による餃子愛の詰った餃子店ガイドブック＋α『餃子女子』（ラトルズ刊）を発売。ベストセラーになる。

二〇一八年10th anniversary BEST ALBUM「笑って泣いて、またわらう」好評発売中。

人は手を繋いだ距離感で見つめ合っている
と、あまりひどい言葉は使えなくなります。
これによってオキヒトシンという愛情ホルモンが
発生し、さらに悪いことだけではなく良いことも
言うてもらうことで、ただ否定されたのではなく
改善点を教えてくれた……、という建設的な
受け止めができます。ありがとう。感謝、ごめんなさい。謝罪、大好き。愛情、これが大切なのです。

ここで三曲目の「私は生きてる」

私は父親を自殺という形で亡くして、大学に進学できませんでしたから、私と同じような立場の自死遺児や交通事故で親を亡くした子、また様々な理由から学費も生活費も自分で稼がなくてはならないという子のお母さんになりました。明治大学に通っていた韓国人と中国人の子もいました。衣食住は私が用意するから、頑張つてアルバイトをして学費は払おうね……と。決して余裕があったわけはありませんが、私はとても幸せでした。

父が自殺した当時、まだ鬱（心の病）は一般に認知されていなくて、近所にばれないように気を遣うとか、高校へ行っても保健室で過ごすことが多かった。私の気持ちは誰にもわからないだろう、何で近所の人は助けてくれないのだろう、何で私だけこんなに不幸なのだろう、何でお父さんは自殺したのだろう、

何で私は大学へいけないのだろう……、世の中を恨むことが多くありました。しかし自分と同じような境遇の子を預かり、ママ、ママと慕ってくれるみんなの悩みを聞いていると、自分では抗えない出来事は人生にはたくさんあるんだ、生きることは誰にとっても苦しいことなんだと思えるようになりました。

そして子供たちにはいつも「まずはあなたから動き出せる人であってください」と言っています。なぜなら私が世の中を恨んでいた時は、誰の助けにもなっていなかったし、自分の大事な時間やお金を使ってまで人を助ける人なんていないと思っていました。でも今、自分が人助けできるようになって、もし私があの時と同じように貧乏や不幸に見舞われても、今度はきっと誰かが助けてくれると信じられるようになりました。だって、私自身がやっているのだから……と、自分を信じられるようになりました。

自分を信じられる人は他人を信じられるように、他人を信じられる人は他人から信じてもらえるように、他人から信じてもらえる人は自分を愛せるようになります。そして自分を愛せる人は人を愛せるようになり、人を愛せる人は周りからも愛されるようになります。でもその一歩は、「自分」なのです。

どうしようもない出来事は、人生には多々起こりがちです。そんな時は自分が掲げた目

標に向かって、笑顔で皆さん頑張ってみてください。そういう人は必ず微笑みかけられるものだとは信じています。何もしないと変わらないけれど、自分が動けば必ず風が吹くのだということを忘れないでください。

現在、社会的擁護が必要な子どもたちは日本に四万五千人、そのうち約八割は児童養護施設などで暮らしています。また、近年自殺率が下がってきたと言われていますが、十五歳から十九歳の自殺率はこの三年増加し続けています。また今年十月の三十歳以下の女性の自殺は、昨年の約四倍になっています。

少子高齢化と言われているのに、子どもたちが生きづらさを感じているのが今の日本の現状であり、これはわれわれ世代の大人が抱える大きな課題だと思っています。

締めの一曲は「笑い泣き」で。コロナ禍の中で久しぶりの例会でしたが、盛況のうちに終了し、第二部の懇親会に入りました。

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。（敬称略・到着順）



鈴木 明人
すずき あきと
平成十年・商学部卒
GMOTECHE(株)
代表取締役社長CEO
東京都大田区在住

◆明大ニュース



神田 達治 かんだ たつじ
昭和四十三年・商学部卒
(有)小田原屋
会長
神奈川県相模原市在住



もりや もとまご
守屋 元雅
昭和五十五年・商学部卒
(株)シー・エル・シー
代表取締役社長
神奈川県相模原市在住

●駿河台キャンパスに

「子どものこころクリニック」が開院

児童精神科診療と臨床実習機会を提供

心理臨床センターは一月十五日、「明治大
学子どもこのころクリニック」を駿河台キヤ
ンパス内に開院し、児童精神科の診療を開始
する。毎週水・日曜日以外の週五日（祝日・
大学の休暇期間は休診）、各日とも十時から
十三時と十四時から十八時の七時間開院し、
診療対象は初診時三歳から十五歳の児童・思
春期の子どもとその家族。

駿河台キャンパス近隣には児童・思春期精神科医療機関が不足しており、センターでの「心理相談」と「精神医療」が連携しながら子どもの成長・発達を支援する新しいクリニックを開設し、より幅広い社会貢献を目指

す。さらに、同クリニックでは、大学院文学研究科臨床人間学専攻臨床心理学専修や文学部心理社会学科臨床心理学専攻の学生に対し、臨床・実習など質の高い教育機会が提供できることとなり、本学はオリジナルの教育システムを有する公認心理師・臨床心理士養成大学として先進的な存在となる。

●「第二十三回ホームカミングデー」

オンライン開催

明治大学は、二〇二〇年十月二十五日「第二十三回ホームカミングデー」の特設サイトを公開した。ホームカミングデーは、明大祭・生明祭と並ぶ明治大学の秋の風物詩で、一昨年の二〇一九年度は校友やその家族など四千人以上が来場。二〇二〇年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初の試みとなるオンライン上での開催となった。

特設サイトでは、ホームカミングデーに向けて撮影・編集された四十本の動画を公開。学生パフォーマンスやマンドリン倶楽部による演奏など、現役学生の魅力あふれる動画のほか、毎年子供たちに大人気の「キッズワークシヨップ」では、錯視立体を実際に作って楽しめる動画と立体の展開図の公開など、オンラインならではの工夫をこらしたコンテンツや本学との連携地域のアンテナシヨップなどを紹介する物産展企画が多数公開された。

さらに、本学との連携地域アンテナショップなどを紹介する物産展企画や、特別招待校友によるメッセージ動画なども公開された。

それらに加えて、大学を代表して、柳谷孝理理事長と大六野耕作学長、校友会の北野大校友会長のメッセージも公開された。柳谷理事長と大六野学長はそれぞれ、「変化の潮流を見極め、不変を守りながら新しく良いものを取り入れていく『不易流行』の精神を旨として、教育研究を一層発展させてまいりたい」

●十月二十八日を「校歌の日」に制定

「白雲なびく駿河台」の歌い出しで、広く明大関係者から愛されている明治大学校歌。この校歌が今年で誕生一〇〇年を迎えたことを記念して、明治大学は十月二十八日を「校歌の日」として制定した。

児玉花外作詞、山田耕筰作曲による明治大

学校歌は、明治大学が大学令に基づく大学に認可された一九二〇（大正九）年秋に制定され、同年十月二十八日に明治大学ハーモニカソサエティーの演奏会において公の場で初演された。明治大学史資料センターは、校歌制定一〇〇年を記念し、校友で映画監督の守屋健太郎氏（一九九二年商学部卒）制作によるミニドキュメンタリー「明治大学校歌の原型を聴く」を大学ホームページで公開した。

OB社長

▽日清丸紅飼料(株)宮内和広氏（一九八九年政経学部卒・五十四歳）

▽(株)グローバルキッズCOMPANY中正雄一氏（一九九五年政経学部卒・四十八歳）

▽(株)ダイイチ若園清氏（一九七六年経営学部卒・六十七歳）

▽(株)共同通信社三土正司氏（一九八一年政経学部卒・六十二歳）

OB市長・町長

▽埼玉県嵐山町長（八月二十五日告示・無投票）

佐久間孝光氏（無所属①、二〇一四年専門職大学院ガバナンス研究科修了・六十歳）

▽愛媛県久万高原町長（八月三十日投票）

河野忠康氏（無所属②、一九七三年文学部

卒・六十九歳）

▽茨城県大洗町長（九月八日告示・無投票）

國井豊氏（無所属①、二〇〇三年政治経済学研究科博士前期課程修了・五十五歳）

▽新潟県長岡市長（十月四日投票）

磯田達伸氏（無所属②、一九七六年政経学部卒・六十九歳）

▽石川県羽咋市長（十月四日投票）

岸博一氏（無所属①、一九七七年法学部卒・六十五歳）

▽愛媛県伊方町長（九月二十二日告示・無投票）

高門清彦氏（無所属②、一九八一年農学部卒・六十二歳）

▽栃木県宇都宮市長（十一月十五日投票）

佐藤栄一氏（無所属⑤、一九八五年法学部卒・五十九歳）

▽新潟県南魚沼市長（十一月十五日投票）

林重男氏（無所属②、一九九二年政経学部卒・五十三歳）

▽兵庫県丹波市長町長（十一月十五日投票）

林時彦氏（無所属①、一九七九年商学部卒・六十六歳）

▽岐阜県関ヶ原町長（十一月二十四日告示・無投票）

西脇康世氏（無所属③、一九七六年法学部卒・六十八歳）

畠中君代トッパスリート支援基金

奨学生が決定

世界を舞台に活躍するアスリートに支援

「畠中君代トッパスリート支援基金」の二〇二〇年度奨学生四人が決定し、十一月十一日、駿河台キャンパスで目録贈呈式が催された。

この基金は、体育会硬式庭球部OG・畠中君代氏（一九六七年文学部卒）の厚志により創設されたもので、二〇二一年に延期されている東京大会をはじめ、国際大会での活躍を目指す明大トップアスリートの支援が目的。今回は、水泳部の荒井悠太選手（政経1）、スケート部の本田真凜選手（政経1）、卓球部の宇田幸矢選手（商1）、戸上隼輔選手（政経1）が採用となった。

目録贈呈後、畠中氏は、「思いやりや感謝の気持ちがないと強い選手にはなれない」と、アジア大会など世界を舞台に活躍した自身の経験から選手らにアドバイス。さらに、「これから自分のため、そして明治大学のために頑張っていたきたい」と激励した。

選手らはそれぞれ畠中氏や大学関係者らへの謝辞とともに、「日本の平泳ぎといえど『明治の荒井』と呼ばれるようにになりたい」（荒井選手）、「スポーツを通じてコロナ禍で苦しむ皆さんに元気や勇気を与えられるよう頑張りたい」（宇田選手）、「OBの水谷隼選

手や丹羽孝希選手のように、世界で活躍できる選手になりたい」(戸上選手)と決意を表しました。

当日、ナショナルチームの都合により欠席となった本田選手のコメントは「奨学生に採用いただきありがとうございます。明治大学の一員として今後も勉学・競技に励みたいと思います」。

● 体育会拳法部

全日本学生拳法選手権大会で優勝

体育会拳法部は、二〇二〇年十二月六日にエディオンアリーナ大阪で開催された第六十五回全日本学生拳法選手権大会に出場し、十五回目の優勝を果たした。

明治大学は初戦の甲南大学に七勝〇敗、二戦目の関西学院大学に七勝〇敗、準決勝の大阪商業大学に五勝二敗と順調に勝ち進み、決勝戦では西の強豪関西大学と対戦。大将戦までもつれたが、主将の小森彪楽選手(文4)が勝利し、四勝三敗で優勝を勝ち取った。

◆ 駿台トピックス

● 山田朝彦氏が日本芸術院新会員に

当会副会長で、日展理事でもある彫刻家の山田朝彦氏(昭和四十一年・商卒)が、日本芸術院の新会員に選ばれ、令和二年十二月十五日付けで文部科学大臣から発令されました。

日本芸術院は、芸術上の功績顕著な芸術家を優遇するための荣誉機関で、芸術の発達に寄与する活動を行うとともに、芸術に関する重要事項を審議し、これを文部科学大臣または文化庁長官に意見を述べることでできるとされています。おめでとうございます。

● 田中均氏が「旭日中綬章」受章

当会メンバーの田中均弁護士(丸の内南法律事務所代表弁護士、昭和四十八年・法卒)が、令和二年秋の叙勲で旭日中綬章を受けられました。おめでとうございます。

● 第十七回連合駿台会ゴルフ会を開催

春季は中止と

なった連合駿台会ゴルフ会のゴルフコンペが、十一月五日、府中カントリークラブで二十四名の参加のもと開催されました。当日は雲一つない秋晴れに恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。ダブルペ



明治大学の将来を支援する経済、法曹、文化など各界のOBが集う「連合駿台会」



五大陸で活躍する姿と豊かな未来を五井の花びらに託し、明治大学と連合駿台会の一体感をMR Sに込めました

日展理事・連合駿台会副会長
山田 朝彦
(彫刻家 昭和41年商学部卒)

「連合駿台会」は、1953年に設立された「茗水クラブ」と、1964年に設立された「明友クラブ」が2004年に統合して設立された、経済人、法曹人、文化人が集うOB組織です。

本年度は新型コロナウイルス感染予防対策に十分配慮しつつ、会員相互の交流の場として例会やビジネス勉強会、ゴルフ会などを計画しております。また寄付講座や商学部・経営学部のフューチャースキル講座、留学生支援などを通じ、明治大学の発展に貢献してまいります。

講師として11月例会はシンガーソングライターの玉城ちはる氏を、1月例会は脚本家の池端俊策氏(昭和45年政治経済学部卒・NHK大河ドラマ「麒麟がくる」ほか)を予定しております。

各界で活躍されておられる明治大学校友のご入会を歓迎いたします

連合駿台会事務局

TEL : 03-3296-4747 FAX : 03-3296-4748
HP : <http://www.rengosundaikai.jp>
Email : rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp

資料のご請求はこちらまで

リア方式による成績結果は、優勝は初参加の坂本道昭会員(昭和四十八年・工卒)、準優勝およびベストグロス賞は落合由行会員(平成十五年・政経卒)、第三位はやはり初参加の柴田清之会員(昭和六十一年・政経卒)で、陶芸家・武内裕会員作の陶器の優勝カップや食器が副賞として贈られました。

今回は五人の方が初参加で、賑やかな会となりました。次回第十八回目になる春のゴルフ会は、四月二日、千葉県・鷹之台カンツリー倶楽部で開催される予定です。



経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学OB諸氏よ！ 来たれ！「連合駿台会へ！」

あけましておめでとうございます

世界中を揺るがすコロナ禍の中、新しい年を迎えました。まさにさまざまな価値観が変質しようとしています。我々も気持ちを新しく、さらなる活動をしていきましょう。

「連合駿台会」は、1953年に設立された「茗水クラブ」と、1964年に設立された「明友クラブ」が2002年に統合して設立され

た、経済人、法曹人、文化人が集い、明治大学の将来を支援するOB組織です。

2021年は明治大学創立140周年という記念すべき年です。これを機に、我々もコロナ禍の難局を乗り越え、明治大学のさらなる変革と成長に貢献して参りたいと思います。各界で活躍されておられる明治大学校友のご入会を歓迎いたします。「前へ！」の精神を共に歩みましょう！



連合駿台会会長
田村 駿
(明治大学評議員会議長)



資料のご請求はこちらまで 連合駿台会事務局

TEL: 03-3296-4747 FAX: 03-3296-4748 HP: <http://www.rengosundaikai.jp>
Email: rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp

★明治大学広報(1月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。

◆大学支援広告を明治大学広報に掲載

連合駿台会では、年六回(奇数月)に明大広報紙に学外では初めての支援広告を掲載、当会の知名度を上げるPR効果に大いに役立っております。(上段&前ページ参照)

◆十一月例会出席者

青木幹則、浅井宏、安達明正、有賀隆治、池田一義、石川かおり、伊東正博、伊原敏雄、岩永省一、潮田伊佐夫、内川雄一郎、大石哲也、大澤道雄、大竹夏夫、大野正美、大原幸男、大前実之、大村託現、奥村勝広、鬼塚和也、狩野省市、栢森靖、河村博、神林光、北野大、木下唯志、木村健一、國井泰成、黒崎昭夫、兒玉圭司、小濱雅説、五味道雄、小山修、根田哲雄、齋藤柳光、佐藤和正、佐藤仁、佐野公哉、澤野太嘉嗣、柴田清之、杉浦伸二、鈴木紘一、鈴木隆志、関孝夫、関根均、相臺志浩、高澤徹、高橋一成、武内裕、田村駿、樽見俊之、辻井知明、当山明彦、徳丸平太郎、泊三夫、富水流孝二、長岡信裕、中村豊、二井康夫、萩原裕次、長谷川進一、畠中君代、塙英幸、馬場範夫、林威樹、平田静子、深代尚夫、福田和彦、藤代耕一、古本英樹、松崎優子、水澤元博、宮下隆、向井真一、室井恵明、本橋尚樹、柳谷孝、山口大介、山口政廣、山田晃久、山田朝彦、山端康幸、弓野理恵、吉田光一郎、渡邊健三

【編集後記】

あけましておめでとうございます。

この年末年始は例年になく「静かな年末年始」を過ごされた方も多かったかと思います。本年もどうぞよろしく願っています。

ちょうど一年前の今頃を振り返ってみますと、二〇二〇年は「オリンピックイヤー」に盛り上がり活気のある年になるであろうと、大きな期待をしていたかと思います。いざあけてみると、コロナに翻弄されて季節の移ろいを感じる余裕もなく、あつという間に終わってしまった一年でした。皆さまも会社で、また日常生活においても大きな影響を受けているかと思いますが。

また、昨年はデジタル化や働き方改革などが格段に進んだ年でもあったかとも思います。私もテレワークやリモートでの会議を経験し、多くの利点を発見する一方、人と実際に会い対話をする事のすばらしさや大切さを実感しました。

今年の干支は辛丑(かのとうし)。「辛」は植物が枯れて新しい世代が生まれようとする状態を、「丑」は芽が種子の中に生じて伸びる前の状態、殻を破ろうとする命の息吹を意味するそうです。コロナ禍での現状を踏まえてみると、転換期や前向きな希望も感じることができるとも思います。また丑年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年とも言われます。一月七日には一都三県に緊急事態宣言が发出され、その後七府県に拡大された状況ではありますが、コロナとの共生をしながら、乗り越えていければと思います。

コロナ禍が収束し、連合駿台会の皆様と肩を組んで、声高らかに明治大学校歌を歌うことができる日々が早く来ますことを心待ちに楽しみにしております。
二〇二一年が皆様にとって穏やかな良い年となることをお祈り申し上げます。
(弓野理恵)